

# 真室川河川防災ステーション 真室川防災センター

町民を災害から多角的に守る防災拠点



## 真室川町

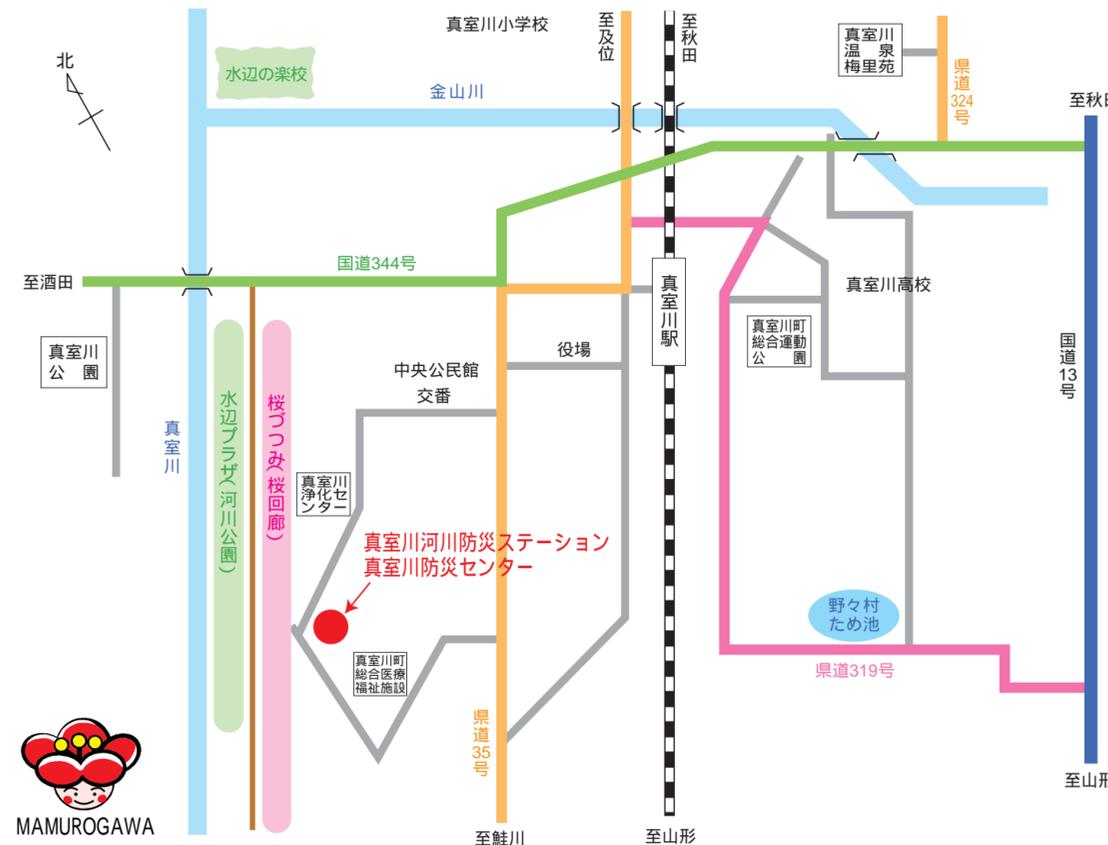
### 防災センター使用料金

多目的スペースを使用する場合のみいただきます。

時間区分 使用目的	8時～12時	13時～17時	18時～22時
公益または公共的な目的で使用する 場合	1,000円	1,000円	1,500円

- 注) 1. 営利を目的とする団体及び個人の使用はご遠慮ください。  
2. 1回の使用は原則として4時間以内とします。  
3. 冷暖房費は、使用料の20%とします。

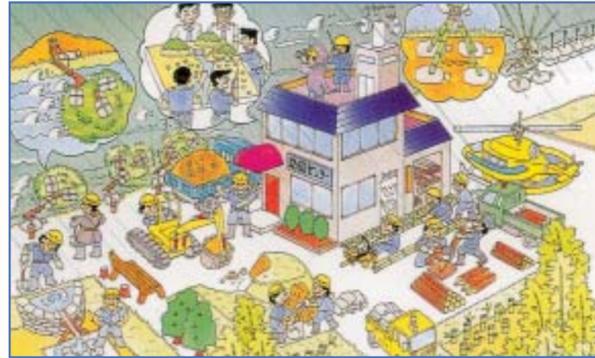
### 案内図



### 真室川防災センター

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町460  
TEL 0233(62)2078 FAX 0233(62)2078  
真室川町ホームページアドレス <http://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/>  
使用詳細についてのお問合せは、センター事務局または役場総務課(62-2111)にお願いします。

### 防災ステーション災害時、平常時の利用



#### 洪水等の緊急時には...

- 水防情報の受発信基地
- 土砂、ブロック等備蓄した資材による緊急復旧の拠点
- 地域住民の緊急避難所
- 水防指令室
- 水防団待機所
- ヘリポートによる緊急輸送

#### 平常時には...

- スポーツ、レクリエーションの場
- 河川等に関する情報発信の場
- 地域の方々のコミュニティ施設
- 地域の野外学習の場
- 各種イベントの開催



### 真室川町洪水避難地図(洪水ハザードマップ)

『災害は忘れたころにやってくる。』確認しておこう避難場所、避難ルート

ハザードマップとは、洪水災害に見舞われたとき、被害を最小限に食い止めるため、住民が的確に避難できるように避難場所、避難ルートなどを具体的に地図上に示したものです。

ハザードマップには、洪水避難地図を1万分の1の図面に写真やイラストなどを入れて分かりやすく作成されています。

ハザードマップは、災害に備え、家族がいつでも見られる身近なところに備えておきましょう。

ハザードマップについては、真室川町建設課にお問合せください。



ハザードマップ



## 防災ステーション

### 1) 全体概要

真室川河川防災ステーションは土砂やコンクリートブロックなどの水防資材を備蓄しており、洪水や地震で堤防が決壊した場合などの緊急時に備蓄資材を使い迅速な緊急復旧を行ったり、水防活動の拠点や周辺住民の緊急避難場所として利用されるなど、地域の人々を災害から守ることを目的として国土交通省新庄河川事務所と連携し整備しました。

また、平常時には地域の憩い、交流の場として子ども達の野外学習や遊び場、水防演習のようなイベントなど色々な目的で利用できます。

さらに、ステーション内にバリアフリーの散策路を整備し、隣接するヘルスケアセンターと河川公園とのアクセス機能を持たせるなど、周辺施設と一体的な利用ができるようになっております。



鮭延城跡からみる防災ステーション

### 全体図



### 2) 各施設説明

#### 緊急避難場所

災害時には周辺住民の緊急避難場所として利用され、平常時にはイベントや地域の憩いの場、交流の場として利用されます。

#### 水防作業スペース

洪水時などには、広いスペースを使って土嚢製作などの水防作業スペースとして利用します。また、平常時には駐車場、多目的広場として水防演習や各種レクリエーションに利用されます。

#### 備蓄エリア

土砂やコンクリートブロックなどの資材を備蓄しており、災害時には緊急復旧の材料として利用します。また、平常時には散策や隣接する施設を訪れた子ども達の遊び場として利用されます。

#### ヘリポート

緊急時にはヘリコプターの離発着に利用され、防災ヘリによる水防資材の輸送やヘルスケアセンターまむろ川への救急患者の搬送などを行います。また、平常時には運動や軽スポーツができる広場や駐車場としての利用が期待されます。

## 防災センター

地域住民の防災意識の高揚を図るとともに地域の総合的防災能力の向上を目的とした防災活動の拠点施設です。また、町についての様々な情報を見ることができる「ゆめねっと」や国土交通省の河川・砂防の各種情報(降雨や水位など)を取り出せるシステムを配置しており、河川水害を水際で防止する役目を果たすほかに、町や河川・砂防の事について学ぶこともできます。



1階多目的スペース



1階水防資材倉庫

### 平常時の役割

町民などの防災知識、技術の普及機能  
防災機関の研修、訓練機能  
防災活動資機材の備蓄機能



1階多目的スペース水槽  
(真室川に生息する魚介類が見れます)



防災センター外観



月山を背景にみる防災センター

### 非常時の役割

水防活動や復旧活動基地  
地域防災の応急活動拠点  
一時避難場所



2階操作室・情報機器室  
(河川情報システムが設置されます)



1階多目的スペース『ゆめねっと』  
(町についての様々な情報が見れます)

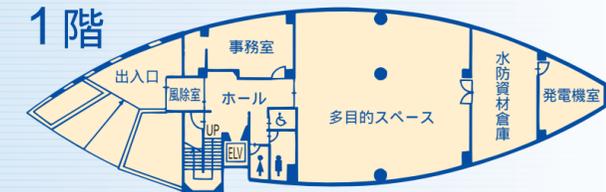
## 防災センター概要

名称 真室川防災センター  
所在地 山形県最上郡真室川町大字新町460番地  
建築費 183,344,700円(町負担:91,973,700円 国負担:91,371,000円)  
工期 着工:平成14年6月20日 完成:平成15年1月10日  
建築概要

構造	鉄筋コンクリート(RC)造3階建	
建築面積	387.42	受電電圧 3W6kv50hz
延床面積	678.94	変電設備 屋外型キューピクル
( 1階 385.33 2階 247.70 3階 45.90 )	空調設備	空冷式ヒートポンプエアコン
	昇降機設備	積載荷重750kg 定員11名

1階

多目的スペース	187.61
水防資材倉庫	51.75
発電機室	25.25
事務室	40.20
トイレ	18.85
ホール	21.73



2階

操作室・情報機器室(国分)	90.37
情報連絡室(町分)	24.57
トイレ	15.26
ホール	89.18
屋上	125.24



3階

水防監視広場	202.19
(展望広場)	23.79
ホール	

